

[別紙] 履歴書及び研究業績目録は下記を参照のうえ作成して下さい。

記

<履歴書について>

1. 学歴は高等学校卒業以降を記載して下さい。
学位取得も記載して下さい。
例：昭和55年3月 農学博士（ 大学 第 号）
平成 2年3月 学士（農学）
平成 4年3月 修士（農学）
2. 職歴は期間がわかるように記載して下さい。
例：平成6年4月 大学 学部非常勤講師（平成8年3月まで）
平成8年4月 大学助教授 農学部
平成9年4月 大学教授 大学大学院連合 学研究科併任
現在に至る。

研究業績について

研究業績は、A4判の用紙に A. 著書・訳書、B. 学位論文、C. 総説・論説、D. 原著論文 (a) 学術雑誌^{*1}、(b) 紀要^{*2}、(c) プロシーディングス、E. その他^{*3}、F. 報告書・事業報告書等^{*4}、G. 特許・設計等、H. 国際学会発表^{*5}、I. 国内学会発表^{*6}、J. 外部資金の獲得状況の順に、下記の例を参考にして作成してください。例えば総説・論説がない場合は、C. 原著論文のように繰り上げてください。マージンは左右上下約3cmに設定し、1行35～40字で40行程度（日本文の場合フォントのサイズは10.5～12程度）にしてください。

- *1：学会誌、国際誌等を年代順に記載する。
- *2：試験場報告、研究所報告等を含む。
- *3：商業雑誌、資料等を記載する。
- *4：調査報告書、科学研究費報告書、事業報告書等を記載する。
- *5：最近5カ年について記載する。
- *6：最近5カ年について記載する（教授選考の場合は不要）。
- *7：英文で著者名を記載する場合は、下記のようにする。
1. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)
- *8：学名にはアンダーラインをつけるか、またはイタリックで記載する。
- *9：論文番号は全角、英数字は半角にする。また、巻数はポールド（太字）とする。
- *10：Journal は略記する。
- *11：発行又は発表予定として記載可能なのは in press か accepted のみとする。

記載例

研 究 業 績 （著書・学術論文等）

A. 著書・訳書

1. 岩手一郎（単著）（1990）
農学について、 出版社，東京，100p.
 2. 岩手一郎（分担執筆）（1991）
岩手の農業（大学太郎，学部一郎編）， 堂，盛岡，pp.10-20.
 3. 岩手一郎（分担翻訳）（1992）
アメリカの農業（A.B.Carter 著，大学太郎監訳）， 社，東京，pp.20-30.
 4. Iwate, I. and Morioka, J.（分担執筆）（1993）
Agricultural Sciences (Eds.: D. E. F. Green and H.I.James), Bio Press, London, pp.20-30.
- （注）執筆した表題等は表記する必要はありません。

B. 学位論文

1. 岩手一郎（1980）
XYZに関する研究．[学修士または修士（ 学） 大学]
2. 岩手一郎（1983）
ABCに関する研究．[学博士または博士（ 学） 大学]

C. 総説・論説

1. 岩手一郎（1994）
岩手における植物の分布．岩手の自然 3：1-5.

2. 岩手一郎, 盛岡次郎 (1995)
 岩手山の植物分布. 岩手植物誌 15 : 215-220.
- D. 原著論文
- (a) 学術雑誌
1. 岩手一郎 (1985)
 岩手の野生植物に関する研究. 日植学誌 5 : 15-20.
 2. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)
 Distribution of wild plants in Iwate Prefecture. Jpn. J. Anim. Sci. 20 : 100-105.
 3. Iwate, I. (1990)
 Calcium metabolism in laying Japanese quail (*Coturnix coturnix japonica*). Jpn. Avian Physiol. 25 : 15-20.
- (b) 紀要
1. 岩手一郎 (1985)
 トウホクタカキビの生態について. 岩手大農報 17 : 30-40.
- (c) プロシーディングス
1. Iwate, I., Morioka, J. and Akita, N. (1995)
 Mode of Life of Japanese macaques in northern Japan. Proc. 5th Int. Cong. of Wild Plants, Berlin, pp.101-102.
- E. その他
1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1990)
 北上山系における広葉樹の生態調査. 野生植物 125 : pp.35-45.
- F. 報告書・事業報告書等
1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1993)
 イヌワシのPCB汚染. 自然植物調査報告 (県), pp.10-11.
- G. 特許・設計等
1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1993)
 イヌワシ捕獲装置 特許第 1234567 号
- H. 国際学会発表 (最近5か年)
1. Morioka, J. and Iwate, I. (1996)
 Ecological study of wild plants in Japan. 5th Int. Anim. Ecol., New York.
- I. 国内学会発表 (最近5か年)
1. 岩手一郎, 盛岡次郎 (1997)
 岩手の野生植物. 第100回日本野生植物学会講演要旨 : 25-26.
- J. 外部資金の獲得状況
1. 平成17年度 科学研究費補助金 (基盤研究 (A) 研究代表者)
 2. 平成15年度 ~ 財団奨励研究費 (分担)

以上